

【トマト】 【ミニトマト】 における薬剤ローテーション例

生育ステージ (生育段階)	散布時期	殺虫剤名	RACコード	アザミウマ類	ミカンキロアザミウマ類	コナジラミ類	タバココナジラミ(シルバリーフコナジラミ)	オオタバコガ	トマトキバガ	トマテサビダニ	ハモグリバエ類	アブラムシ類	カメムシ類	シロイチモジヨトウ	ナミハダニ	ハスモンヨトウ
定植時		ベリマークSC	28	○		○			○		○	○				
	7月上旬	ディアナSC	5	○		○		○	○		○					○
	7月中旬	ファインセーブフロアブル	34	○			○			○						
	7月下旬	グレーシア乳剤	30	○		○		○	○	○	○					○
	8月上旬	トランスフォームフロアブル	4C			○				○		○				
	8月中旬	アフーム乳剤	6			○		○	○	○	○					
収穫開始	8月下旬	コテツフロアブル	13		○			○	○	○					○	
	9月上旬	ブレオフロアブル	UN					○	○		○		○			○
	9月中旬	ベネビアOD	28	○		○		○	○		○	○				
摘心	9月下旬	スタークル顆粒水溶剤	4A			○							○			
	10月上旬	ディアナSC	5	○		○		○	○		○					○
	10月中旬	ファインセーブフロアブル	34	○			○			○						
	10月下旬	グレーシア乳剤	30	○		○		○	○	○	○					○
	11月上旬	トランスフォームフロアブル	4C			○				○		○				

剤の選択のポイント

☆アザミウマ類対策
ネオニコチノイド系薬剤（RACコード：4A）の粒剤には期待できません。コテツ、グレーシア、ファインセーブなどの薬剤を活用しましょう。

☆コナジラミ類対策
100%効く剤はない
→増えてからでは遅い。

☆共通
ベリマークやベネビアはネギアザミウマ、タバココナジラミには効果があります。
一方で、ミカンキロアザミウマやオンシツコナジラミには効果が薄いです。
【効く剤】を後半に温存するなら、早めに使っておくのが良い。

気門封鎖剤を活用してみる
気門を封鎖して害虫を窒息死させます。
※展着剤を加用しない。他薬剤との組み合わせでは薬害が生じることがあるので、注意が必要です。

微小害虫に効果のある薬剤は、オオタバコガ・トマトキバガなど、チョウ目害虫にも非常によく効きます。
防虫ネットを展張していれば、チョウ目害虫“だけ”に対する薬剤防除は不要。

注：RACコードは同じ作用機構の農薬をグループ分けしたものです。薬剤耐性菌対策のためローテーション散布を心掛け、同一系統の薬剤の連用は避けましょう。